

科目名 (英)	中国語 Chinese Language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	李 霜華
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日3時限 / 木曜日4時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 長年に亘り、日本語学と教育方法学の理論に基づき、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。本校の指導方針に従って、基礎から丁寧に指導し、特に発音と声調を正しく身につかせ、将来の仕事で使えるように、最初から良い基盤を築いていきます。また、仕事現場に役立つため、普段の授業では、発音、文字、文法の重要なポイントをわかりやすく説明して、仕事用の単語、フレーズを覚えるように、繰り返し練習してもらいます。また中国語検定試験も挑戦してもらい、外国語のレベルを明らかに証明出来るように、クラス全員と一緒に頑張って、授業を確実に一步一步進めます。

【到達目標】  
 グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来の仕事現場での中国観光客に対するサービス提供ができるし、中国語検定試験も合格できるように、今から少しずつ進んでいきます。更に中国語の勉強を通じて、中国・日本・アジアの文化について興味を感じ、深く理解できます。卒業後、様々な仕事場で、習った知識を生かし活躍している場面を頭に思い浮かべながら、日々の努力によって語学力を徐々に高めることができます。

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション、中国語概況について理解できる。発音の勉強、練習を経て、中国語で簡単な自己紹介ができる。
2回目	中国語の発音を復習し、挨拶の言葉を身につけることができる。また自己紹介の内容を増やし、少しずつ覚えることができる。
3回目	自己紹介が流暢にできる。これからの仕事に関係がある単語を勉強し覚えることができる。
4回目	簡単な空港用語、ホテル用語を学び、中国観光客へのサービス会話を身につけることができる。HSK中検の過去問題を部分的に解くことができる。
5回目	検定試験のリスニング練習、中国語の漢字の書き方、基礎文法などを身につけることができる。
6回目	自己紹介の内容を充実させ、就職面接に向かって、自分の特徴をアピールすることができる。
7回目	検定試験の過去問題を導入し、各部分の対策を身につけることができる。
8回目	将来の職場の場面を設定して、中国語で対応できるように、会話を身につけることができる。
9回目	教室でグループを分けて、卒業後の仕事現場を作って、中国語で案内することができる。
10回目	今まで習ったことを復習し、第一回目のHSK中国語検定試験に向かって、一層力を入れることができる。
11回目	模擬試験を行ない、全員で合格できるように期待することができる。
12回目	自分の足りない部分を見つけ、その解決策をみんなで一緒に身につけることができる。
13回目	前期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
14回目	評価週、期末試験(リスニング・会話・筆記試験を含む)
15回目	まとめ、反省会、これからの課題を決めて、更に高い目標を目指して頑張ることができる。
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。インターネット上の中国語を聞いたり、練習したりして、できるだけたくさん言葉を覚えるように努力してもらおう。
評価方法	●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	ご入学、おめでとうございます。自分の勉強意欲と若さを十分に活かして、悔いのない学校生活を送ってください。中国語の勉強を通じて、国際人の意識を高め、視野を広げ、将来、与えられた仕事だけでなく、自ら進んで社会に貢献できる人間になってください。授業中、わからないことがあれば、遠慮せずに積極的に質問してください。クラス全員の力を合わせ、一緒に頑張りましょう!
【使用教科書・教材・参考書】	
市販HSK検定試験問題集、会話プリント等	

科目名 (英)	中国語 Chinese Language	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	李 霜華
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
						曜日・時限	月曜日3時限 / 木曜日4時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 長年に亘り、言語学と教育方法学の理論に基づいて、エキスパートとしての中国語教育を行ってきました。エアライン・ホテル業務に使えるオリジナル教材を作って、前期の勉強を踏まえ、中国語の基礎を更に固め、発音・文法・会話を中心に深く指導していきます。  
 授業の内容を身につけるだけでなく、自らの勉強を通じて問題解決の能力を高めるように期待しています。プリントを配り、日常会話・ビジネス会話を繰り返し読んだり暗記したりさせ、流暢に話せるまで練習してもらいます。また、数十年の教育経験を活かして、受講生が中国語検定試験HSK2級、3級に合格できるように、試験問題を解くノウハウを丁寧に説明し、クラス全員で力を合わせて、目標を目指して頑張ってもらいます。□

【到達目標】  
 グローバル化社会に於いて適応力が高い人間になるため、コミュニケーション能力、特に外国語のレベルが問われるという意識を持って、中国語を身につける重要性が深く認識できます。また、中国語の自己紹介をはじめ、日常会話、ビジネス会話、将来の仕事現場で中国人観光客に対するサービス提供ができるように、今から少しずつ進んでいき、卒業するまで中国語が話せるように皆で頑張ります。前期の続きとして、中国語検定試験HSK2級、3級に合格できるように奮闘してもらいます。

授業計画・内容	
1回目	前期に習った内容を全面的に復習し、発音・四声・イントネーションについて徹底的に練習することができる。
2回目	前期に続き、中国語検定試験HSK2級問題を取り上げて、各部分に分けて、詳しい説明を聞いて、そのノウハウを理解することができる。
3回目	過去問の練習について一回ずつ自分の目標を立てて、その達成感を味わいながら、更に高い目標へ進むことができる。
4回目	検定試験の問題について、各部分を徹底的に練習しながら、日常会話・業務用語も学ぶことができる。
5回目	検定試験の過去問を練習すると同時に、言葉の量を増やし、基礎文法を重点的に学ぶことができる
6回目	リスニング問題を重点的に練習し、自分の弱点を見つけて、克服することができる。
7回目	検定試験の過去問についての共通性を見つけ、その対策を身につけることができる。
8回目	検定試験の最終的な復習と合格できるノウハウを徹底的に身に着けることができる。
9回目	仕事用のビジネス会話を中心に練習し、臨機応変に対応する能力を高めることができる。
10回目	空港・ホテルの様々な場面を作って、習った言葉、フレーズを活用することができる。
11回目	教室でグループを分けて、卒業後の仕事現場を作って、中国語で案内することができる。
12回目	後期の学習内容を全面的に復習し、授業効果を一層高めることができる。
13回目	期末試験前の総合的な復習、口頭試問の答えも十分に練習することができる。
14回目	評価週、期末試験(リスニング・会話・レポートを含む)
15回目	まとめ、反省会、これからの仕事に向かって、更に人生の高い目標を目指して頑張っていくことができる。
準備学習 時間外学習	授業の前に、復習・予習が必要で、単語、フレーズを随時に暗記する。インターネット上の中国語を聞いたり、練習したりして、できるだけたくさん言葉を覚えるように努力してもらおう。
評価方法	●授業態度(30%) ●小テスト(20%) ●定期テスト(50%) 割合で成績評価を行う。
受講生への メッセージ	皆さん、前期の授業でよく頑張ってくれて、ありがとう！中国語を更に上手に身につけられるように、後期も工夫しながら一緒に前へ進んでいきましょう。将来仕事に使えるビジネス中国語を中心に、単語の量を増やし、決まったフレーズをしっかりと覚え、就職してからすぐに中国語でお客様に対応できるように、日々コツコツと努力することが大事です。どうか皆で力を合わせ、これからの楽しい学校生活を過ごしましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 日常会話、ビジネス会話のプリント・中国語検定試験過去問プリント、単語集	

# 福岡ウェディング & ホテル・IR専門学校 2021年度前期 授業シラバス

科目名 (英)	企業プロジェクト CorporateCollaborationProject	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	林田裕也
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	金曜日3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
企業様より課題をいただきホテルでの新しい商品やプランを考案し、ターゲットの設定、プロモーション方法、価格帯の設定を行い、課題を頂いた企業様へプレゼンテーションまで商品化を進めるうえで一連の流れを経験する。							
※実務経験 パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト10年専務取締役							
【到達目標】							
①ホテルにおいて新規顧客の獲得やリピーターの定着など創造力を活かして、ホテルへの収益を獲得できる人材になる。②1年後のJESC奨励賞に向けて企業課題に取り組むことができる③数値化された情報を様々な視点から分析し、プロジェクトに活かすことができる。							

授業計画・内容		
1回目	企業プロジェクトの目的と課題の把握ができる	
2回目	対象ホテルが持つ課題に背景にある問題や環境を把握する事ができる	
3回目	対象ホテルの企業分析と外部環境の資料作成ができる①	
4回目	対象ホテルの企業分析と外部環境の資料作成ができる②	
5回目	対象ホテルの課題に対する素案を、チームディスカッションを用いて素案を作る事ができる	
6回目	課題に対するアイデアの骨子を作る事ができる	
7回目	プロジェクトの資料作成ができる①	
8回目	プロジェクトの資料作成ができる②	
9回目	作成資料を他チームの前で発表する事で、課題や新たな疑問事項を明確にする事ができる	
10回目	プロジェクトの資料作成ができる③	
11回目	プロジェクトの資料作成ができる④	
12回目	プレゼンテーションのスキルを学び、トレーニングする事ができる①	
13回目	プレゼンテーションのスキルを学び、トレーニングする事ができる②	
14回目	★評価週	企業へプレゼンテーションの実施
15回目		企業プレゼンテーションのフィードバックにて学びを発見する事ができる
準備学習 時間外学習	現地訪問と視察の実施	
評価方法	期末テスト100%(毎回の授業におけるチーム制作への積極性・取り組み姿勢・課題成果物のクオリティも含む)	
受講生への メッセージ	課題提供のホテルを、自身が責任者になった場合の意識を持ち、正しい課題を通して、将来現場で様々な課題解決能力を持つ、実際に活躍できるスタッフへの成長を目指しましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し		

科目名 (英)	空間コーディネーター演習	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	上鶴瀬 茂樹
	FlowerExercise	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	水曜日2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
トレンドを取り入れた装花の一連の流れを実習を交えながら楽しく学んでいきます。							
※実務経験 2004年、NFD本部講師資格を取得。国内外でフラワーデザイン・アレンジメントを学び独立。2017年KAMYU STYLE(カミュスタイル)をスタート。その後数々のハイブランドコレクションや店舗の装花、ホテルウェディングやレストランウェディングの会場装花・装飾、ブーケ制作の総合プロデューサーを多数担当。ジュエリーやアパレルブランドの広告撮影時のフラワーコーディネーター、展示会や催事ではVMDも担当。繊細かつクライアントのニーズに合わせた提案や仕事に対する姿勢は、業界関係者からの信頼が厚い。フローリストの枠を超え、フラワーアーティストとして様々な分野で活躍の場を広げている。							
【到達目標】 トレンドを取り入れたテーブル装花の一連の流れを学び、実践に活かすスキルを身につける。							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション・自己紹介/後期授業内容について
第2回	昨今のブライダルトレンドを読み解き説明できるようになる。
第3回	年間のフラワーイベントについて理解することができる。
第4回	シーズンイベント装花①/オータムアレンジメント制作ができるようになる。(2,000円)
第5回	昨今のテーブルコーディネートを理解することができる。
第6回	昨今の会場コーディネートを理解することができる。
第7回	テーブルコーディネートプレゼン資料を製作する。
第8回	シーズンイベント装花/ウィンターアレンジメント制作ができるようになる。(1,500円)
第9回	これまでの講義をふまえ、ブライダルトレンドプレゼン資料を製作する。
第10回	プレゼンテーション
第11回	シーズンイベント装花③/NEOLめ縄飾り制作ができるようになる。(2,500円)
第12回	テーブルコーディネート(和装)を理解することができる。
第13回	ウェルカムスペースディスプレイ&装花について理解することができる。
第14回	期末試験
第15回	まとめ・解答
準備学習 時間外学習	
評価方法	プレゼンテーション30% 期末試験70%
受講生への メッセージ	トレンドを取り入れたブライダル装花の一連の流れを実習を交えながら楽しく学び、知識を実践に活かすスキルを身につけましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	英会話(ライティング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ODEGBARO TUNDE
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます</p> <p>※実務経験: インターナショナルエアアカデミーにて英語講師として10年勤務</p>							
<p>【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ</p>							

授業計画・内容		
1回目	英語で自己紹介や挨拶ができる	
2回目	英語での問い合わせができる	
3回目	リクエストの作成・英語でのリクエストにも丁寧に対応できるようになる	
4回目	道案内を英語でわかりやすく指示ができる	
5回目	英語でクレーム対応ができる	
6回目	英語での電話予約ができる	
7回目	フロントデスクで英語でのチェックインができる	
8回目	英語でのチェックアウトができる。支払いを処理したり、ゲストの滞在に感謝したりできる	
9回目	ルームサービスの注文を英語で受けられる	
10回目	英語でのコンシェルジュサービスができる	
11回目	レッスン1~3の復習。	
12回目	レッスン4~6の復習。	
13回目	レッスン7~10の復習。	
14回目	★評価週	理解度テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	理解度テストの総復習
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください	
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%	
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
<p>授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。</p>		

科目名 (英)	英会話(リーディング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ODEGBARO TUNDE
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます</p> <p>※実務経験: インターナショナルエアアカデミーにて英語講師として10年勤務</p>							
<p>【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ</p>							

授業計画・内容		
1回目	プロフェッショナルな環境で自己紹介や挨拶ができる	
2回目	電話または直接予約のやりとりができる	
3回目	ゲストの苦情に効果的に対処し、解決策を提供できる	
4回目	ゲストからの食べ物や飲み物の注文を受けることができる	
5回目	ホテルからゲストをチェックアウトし、支払いを処理できるようになる	
6回目	重要な語彙やフレーズの復習	
7回目	緊急事態に対処し、ゲストと効果的にコミュニケーションできる	
8回目	気難しいゲストや手に負えないゲストに対処するための戦略を理解し説明できる	
9回目	部屋の点検を実施し、問題があればメンテナンスに報告することができる	
10回目	ルームサービスの注文を受けて客室まで配達できる	
11回目	レッスン1~3の復習。	
12回目	レッスン4~6の復習。	
13回目	レッスン7~10の復習。	
14回目	★評価週	理解度テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	理解度テストの総復習
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください	
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%	
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
<p>授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。</p>		

科目名 (英)	英会話(スピーキング&リスニング) English conversation	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	ODEGBARO TUNDE
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 英語でのコミュニケーション、業界に必要な英語力を身につけます</p> <p>※実務経験: インターナショナルエアアカデミーにて英語講師として10年勤務</p>							
<p>【到達目標】 基本的な英語コミュニケーションができる 業界に必要な英語の語彙力アップ</p>							

授業計画・内容		
1回目	ホテルのサービスやアメニティに関する情報を問い合わせたり、提供したりできるようになる	
2回目	さまざまなエリアへの行き方をゲストに案内できるようになる	
3回目	ゲストに地元の観光スポットやアクティビティを勧めることができる	
4回目	プロフェッショナルな態度でゲストに食べ物や飲み物を提供できるようになる	
5回目	ゲストに別れを告げ、滞在してくれたことに感謝することができる	
6回目	問い合わせへの回答などができる	
7回目	ホテルのサービスやアメニティをゲストに説明できる	
8回目	顧客サービスについて説明できる	
9回目	食事制限や部屋の好みなど、ゲストからの特別なリクエストに対応できる	
10回目	他のスタッフとコミュニケーションをとることができる	
11回目	レッスン1~3の復習。	
12回目	レッスン4~6の復習。	
13回目	レッスン7~10の復習。	
14回目	★評価週	理解度テスト
15回目	★まとめ・追試/再試	理解度テストの総復習
準備学習 時間外学習	各ミニテストの準備をしてください	
評価方法	最終テスト75%、授業内での発表数25%	
受講生への メッセージ	楽しくてわかりやすい方法で英語学習を楽しみましょう。この講義は、国際社会でのコミュニケーションに必要な英語を話すスキルを身につけるのに役立ちます。	
【使用教科書・教材・参考書】		
<p>授業内筆記(この授業専用のノートを用意してください。) ※注) 他の授業のノートと一緒にしないようにしてください。</p>		

科目名 (英)	ホテルマネジメント I Hospitality management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	金曜日2時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどのように変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。

※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。

【到達目標】  
 ホテルに限らず、ビジネスは利益と経費の相関関係である。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として持ち、ホテルレストラン業界マネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの解説分析が出来るレベルを到達とする

授業計画・内容	
1回目	ホテルの原価とは何か理解することができるようになる。客室の原価の有無について知ることができる
2回目	ホテル旅館の倒産する原因が理解できる様になる 潰れるホテル旅館の共通点が判る
3回目	ホテルの利益と経費 の内容が理解出来、利益を出すポイントが理解できる様になる
4回目	ホテル売上管理の流れ や ホテル会計用語が理解出来る様になる
5回目	宿泊料飲数値分析 手法が理解出来、小問題を解くことが出来る 解答説明 戦略は分析からの意味が解る
6回目	ホテルの損益収支問題を解きながら、損益収支の見方が理解出来るようになる こんなに売上で利益はこれだけ?増収減益の疑問を解決することが出来る
7回目	経費を節減する2つの方向性で経費の削減方法が理解できる 経費節減できないホテル旅館事例 で問題点が判る様になる
8回目	FBCの重要性 が理解出来て原価意識が高まる様になる 標準原価と実態原価を知ることロスを発見することが出来る様になる
9回目	PDCAサイクルで経費節減の手法が理解できる様になる
10回目	ホテルマネジメントに有効な経営指標を理解することで、経営判断の重要性を理解することが出来る
11回目	PMS CRMの重要性を認識し、その仕組みを理解することが出来る
12回目	自分ホテルを計画してみよう!! 業態構成から 損益収支試算表作成 迄を自ら計画する知識を持つことが出来る
13回目	経費削減の検討 重篤レベル と 優先順位を探る事が出来る 夏休み課題は損益分岐点売上高(固定費・変動費・限界利益)の計算問題を解くことが出来る
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目標を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色々な産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。レストランマネジメント授業と連動して自分ホテルの事業計画と経営シミュレーション体験を実施する。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。ホテルマネジメントでもコストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事では無く、無駄を省きあるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。ホテル旅館業界の人手不足が取りざたされる昨今ですが、切実に不足するのはマネジメント人材です。ホテル業は元より観光産業全般に関心を寄せ、観光立国ニッポンの為に沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します	

科目名 (英)	ホテルマネジメントⅡ Hospitality management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
						曜日・時限	木曜日1時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。

※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。

【到達目標】  
 ホテルに限らず、ビジネスは利益と経費の相関関係である。ホテル飲食業界で売上に応じた適正な経費の範囲を、それはどういう根拠によって計算されるのかを共通認識として持ち、ホテルレストラン業界マネジメントの基礎を習得する。営業分析数値を自ら操り、P/Lの解説分析が出来るレベルを到達とする

授業計画・内容	
1回目	ホテルの原価とは何か理解することができるようになる。客室の原価の有無について知ることができる
2回目	ホテル旅館の倒産する原因が理解できる様になる 潰れるホテル旅館の共通点が判る
3回目	ホテルの利益と経費 の内容が理解出来、利益を出すポイントが理解できる様になる
4回目	ホテル売上管理の流れ や ホテル会計用語が理解出来る様になる
5回目	宿泊料飲数値分析 手法が理解出来、小問題を解くことが出来る 解答説明 戦略は分析からの意味が解る
6回目	ホテルの損益収支問題を解きながら、損益収支の見方が理解出来るようになる こんなに売上で利益はこれだけ?増収減益の疑問を解決することが出来る
7回目	経費を節減する2つの方向性で経費の削減方法が理解できる 経費節減できないホテル旅館事例 で問題点が判る様になる
8回目	FBCの重要性 が理解出来て原価意識が高まる様になる 標準原価と実態原価を知ることロスを発見することが出来る様になる
9回目	PDCAサイクルで経費節減の手法が理解できる様になる
10回目	ホテルマネジメントに有効な経営指標を理解することで、経営判断の重要性を理解することが出来る
11回目	PMS CRMの重要性を認識し、その仕組みを理解することが出来る
12回目	自分ホテルを計画してみよう!! 業態構成から 損益収支試算表作成 迄を自ら計画する知識を持つことが出来る
13回目	経費削減の検討 重篤レベル と 優先順位を探る事が出来る 夏休み課題は損益分岐点売上高(固定費・変動費・限界利益)の計算問題を解くことが出来る
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目線を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色々な産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。レストランマネジメント授業と連動して自分ホテルの事業計画と経営シミュレーション体験を実施する。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	入るを計って出るを制す 商いの基本を感じてもらいたい。 ホテルマネジメントでもコストコントロールは マネジメント(経営)の主役の部分です。単に経費を削る事では無く、無駄を省きあるべき姿を追求する という点では日常生活にも応用できる学習です。ホテル旅館業界の人手不足が取りざたされる昨今ですが、切実に不足するのはマネジメント人材です。ホテル業は元より観光産業全般に関心を寄せ、観光立国ニッポンの為に沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します	

科目名 (英)	ソムリエ演習	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	麻生 亮
	practice of Sommelier	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	水曜日3時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
各国のワインの特徴を学ぶ  ※実務経験 レストランひらまつ: レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡: レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 各国のワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得							

授業計画・内容	
第1回	フランスワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第2回	フランスワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第3回	ドイツワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第4回	イタリアワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第5回	スペイン・ポルトガルワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第6回	中間筆記試験
第7回	アメリカワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第8回	オーストラリア・NLワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第9回	ギリシャワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第10回	スイス・オーストリアワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第11回	日本ワインの特徴、料理との相性、お客様へのすすめ方等を学び社会で通用する知識の習得
第12回	課題の抽出と克服
第13回	期末試験対策
第14回	期末試験
第15回	まとめ
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】  厚生労働大臣指定機関 一般社団法人日本ホテル・レストランサービス技能協会 西洋料理 料飲接客サービス技法	

# 福岡ウェディング & ホテル・IR専門学校 2022年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	ワイン学Ⅱ Study of Wine	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	三好 洋司
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	月曜1限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>【学習内容】 前期で学んだワインの基礎知識を活かし、ワインビジネスにつながる分野のことを学んでいただきます。</p> <p>【実務経験】 大阪のショットバーでソムリエとして勤務後、渡仏。約3年のフランス滞在期間の間、ブルゴーニュ地方のワイナリーでのワイン造り、オーベルジュでソムリエとして勤務。帰国後は、福岡にてワイン輸入元ヴァンドールを立ち上げ、代表として勤務しています。</p>							
<p>【到達目標】 前期に学んだ代表的なワイン生産国の基礎知識を活かし、ワインの奥深さ(歴史や産地、ワイナリーの特徴)またブランディングやマーケティングを理解し体得できるようになる。□</p>							

授業計画・内容		
1回目	ソムリエという仕事。ソムリエの役割と目的について理解することができる。	
2回目	ソムリエ目線で考えるレストラン経営を理解することができる。	
3回目	ワインの輸入、輸入方法を理解することができる。	
4回目	ワイン販売におけるブランディングとマーケティングを理解することができる。	
5回目	ワインの歴史を理解することができる。	
6回目	テロワールについて学ぶことができる。	
7回目	ワインのトレンドを理解することができる。	
8回目	ワインツーリズムを理解することができる。	
9回目	ワインのテイスティング、評価ができる。	
10回目	ワインに関する資格とワインコンクールについて理解することができる。	
11回目	ワインを学ぶことの将来性を理解することができる。	
12回目	ソムリエとしてキャリアを構築を考えることができる。	
13回目	ワインに関わる様々な業種を理解することができる。	
14回目	★評価週	試験
15回目		試験の復習
準備学習 時間外学習		
評価方法	筆記試験100%	
受講生への メッセージ	海外のゲストが増え、グローバル化が進むホテル業界や飲食業界においてワインを学ぶことは非常に重要です。ワインは美味しく楽しめる飲み物であることはもちろんですが、さらに踏み込んでビジネスやキャリアアップにつながることを学んでいただければと思います。	
【使用教科書・教材・参考書】		
無し。授業用にパワーポイントを作成します。		

科目名 (英)	レストラン技能検定 Restaurant service skill test	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	麻生 亮
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	前期 水曜日1・2時限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】 授業を通じて実社会で通用するスキルを身につけていきます。							
【実務経験】 レストランひらまつ:レストランサービス2年・ホテルオークラ福岡:レストランサービス20年勤務							
【到達目標】 全員合格							

授業計画・内容	
1回目	2021年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
2回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
3回目	2022年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
4回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
5回目	2023年過去問題を解き出題をテキストから探しアウトプット出来る様になる。
6回目	中間試験(過去3年分300問・自己採点)
7回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
8回目	過去問題を解き類似問題への対応力を高める事が出来る様になる。
9回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
10回目	自己における課題の抽出と克服方法を学ぶ事が出来る。
11回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来る様になる。
12回目	各年代における過去問題の平均95点取得出来る様になる。
13回目	実技試験対策
14回目	実技試験対策
15回目	実技試験対策
準備学習 時間外学習	①健康管理に留意して身嗜みを整える ②授業で学んで知識・技術を日常で活かす工夫を心がけ実践してみる
評価方法	筆記試験
受講生への メッセージ	未だ見ぬ自分の新たな発見
【使用教科書・教材・参考書】 西洋料理 料飲接客サービス技法	

科目名 (英)	レストランマネジメントⅡ Restaurant management Ⅱ	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	林田 裕也
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	金曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 顧客行動心理学と、その最大化を検証、構築するサービスで、お客様の満足度を最大化する為のサービス技術を習得します。 5割が顧客の行動心理に沿ったサービス構造理解と適切なサービス提供の研究、実演でスキル習得を目指します。</p> <p>※実務経験：パークハイアット東京7年間勤務、リゾートトラスト社東京ベイコート倶楽部東京後、株式会社プライムコンセプト12年専務取締役、株式会社プライムプランディングデザイン専務取締役。</p>							
<p>【到達目標】 顧客行動心理学をベースに、サービス商品の最大価値を引き出す為のスキルを身に付けます。</p>							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション・自己紹介
2回目	サービス商品と顧客行動心理学の関係性について理解できる
3回目	顧客の感情を逆算して、最良のサービスを体験し理解する事ができる
4回目	サービス商品における最良のタイミングを理解できる
5回目	基礎的なサービススタンダードの確認と実演で、正しいサービス姿勢を習得できる①
6回目	基礎的なサービススタンダードの確認と実演で、正しいサービス姿勢を習得できる②
7回目	顧客視点に立った、サービス提供の最良タイミングを体感できる①
8回目	顧客視点に立った、サービス提供の最良タイミングを体感できる②
9回目	宿泊サービスの実施研修 ～フロントチェックイン～
10回目	宿泊サービスの実施研修 ～客室へのエスコート～
11回目	レストランサービスの実施研修 ～ 入店から着席サービス～
12回目	レストランサービスの実施研修 ～ ファーストドリンクから料理提供の基本マナー～
13回目	レストランサービスの実施研修 ～ ファーストドリンクから料理提供の基本マナー②～
14回目	レストランサービスの基本チェック
15回目	レストランサービスの基本提供試験
準備学習 時間外学習	無し
評価方法	期末試験 50% 授業態度 50%
受講生への メッセージ	通年の授業を通して、サービスクオリティの向上を目指しながら、顧客心理学を最大化しサービススキルを身に付けられます。 様々な体験や学びを通して、自身の最良のサービススタイルを作っていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
無し	

科目名 (英)	レベニューマネジメントⅠ・Ⅱ Financial accounting / Revenue management I	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前・後期
						曜日・時限	金曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>本校において、世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来を予測しながら、収益を上げる為のレベニューマネジメント手法の基礎からホテルマネジメントの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為に数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>レベニューマネジメントは航空業界から始まり、今やあらゆる業種において活用され、ダイナミックプライシングやイールドマネジメント等と名を変えて進化し続けている。特にAIによってホテル販売価格など決定されるが、その背景を認識し、ホテル客室料金設定の仕組みを知る事。また、合わせて日常的にホテル内で使用される数値計算を解答できるように指導する。多くのホテルではオペレーティングに関しては教務深く意欲も沸くが、ホテルを企業経営として深く認識し、利益の最大化を図る為のマネジメント意識を上げる事。</p>							

授業計画・内容	
1回目	レベニューマネジメントとは何か その原理原則を知り、RM(レベニューマネジメント)の目的が理解できる
2回目	収益管理の商品特性と市場が理解でき、RMの重要性を知る事ができる
3回目	需要予測の重要性 ホテルの商品やサービスの需要に関するデータ収集分析が将来の販売予測に重要な理由が理解できる
4回目	現在の数値分析の内容及びその重要性が理解出来るようになる
5回目	現状分析から将来の数値を予測する必要性を知る事あできる
6回目	需要予測と戦略的価格設定の関係を理解し、価格がどのようにして決定するかのプロセスを知る事ができる
7回目	在庫と価格管理 最適な在庫管理の手法をりかいてできる
8回目	顧客の市場区分別分析や在庫管理戦略としての売り越し実施の条件を理解できる
9回目	価格管理 客室レートの設定 在庫と価格管理の関係を認識することができる。
10回目	流通経路管理 非ネット系流通経路の分析手法を理解できる
11回目	ネット軽流通経路 分析手法を理解できる
12回目	宿泊収入 競合他社分析基準 を理解出来るようになる
13回目	飲食サービスのレベニューマネジメント概要を知り、宿泊業以外での価格設定方式を認識することができる。
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	基本的にWebsite情報を元に、色んな情報の収集を行い、分析に入る事が出発点。つまり戦略は分析から・・・であることを指導する。つまり学校内だけが学習の場面では無く、社会のニュースやホテル事業施設周辺マーケットや流通サービス業の価格設定等も常にリサーチしておく必要がある。情報収集能力と情報整理し学びは日常の中に沢山あり、それに気づく事が重要です。sいる 又、PCやタブレットは単なる道具ですが、当然ながら道具を使いこなすPCスキルも必要です。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	Revenue Management Yield Management Dynamic Pricing の言葉や手法が頻繁に登場する世の中です。その原理原則を学ぶことでホスピタリティ産業ではどの様に活用されているかが、認識出来ます。ホテル業界は勿論「おもてなし」の精神と技術は必要ですが、一方では冷静な判断でマネジメントする能力が必要です。つまり、「Cool Head & Warm Heart」冷静な分析判断能力と、優しい暖かいおもてなしの心のバランスが必要です。産業情報にアンテナを張って沢山学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> <p>※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcel使用をします</p>	

科目名 (英)	ホテルマネジメント技能検定 Hotel management exam	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホテルグローバルコース / ホテルマネジメントコース	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	木曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>本校において、コロナ禍で激変する世界市場の中でホテルマーケットがどの様に変化変貌するのか、未を予測をしながら、収益を上げる為のマネジメント手法の基礎からコストコントロールの重要性を学び、未来に通じる経営数値管理知識や分析能力を持てる指導の為、数値分析問題などを中心に指導実施する。</p> <p>※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>ホテル業界を目指す学生の多くは接客が好きだとか、ホテルオペレーションに関心の高い人が多いです。勿論、ホテル業の最前線は接客サービスで始まりますが、ご存じの通り、今ホテル開発は商業施設、オフィス施設、ホテル宿泊施設として不動産デベロッパーにより複合施設として世界中で開発されています。その中で不動産開発する側とホテル運営現場で働く人とのビジネス経営の知識格差が見られます。もはやホテル業界では「おもてなし」だけでは食えない時代になりました。現場は現場教育で時間をおけば習得できますが、ホテル業をビジネスとしてホテル経営学の本質と実践を学び、習得する事で上位職への門が開かれます。当面の目標として在学中にホテルマネジメント検定試験3級合格を目指す。</p>							

授業計画・内容	
1回目	2年後期授業に続き、今前期の授業スタイル説明
2回目	ホテル業務運営管理 必要な知識や技能が理解出来る 過去問題
3回目	宿泊業務に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
4回目	料飲業務に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
5回目	宴会部門に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
6回目	営業部門に必要な知識と技能が理解出来る 過去問題
7回目	ホテルマーケティングの知識と技能が理解出来る 過去問題
8回目	施設管理業務の知識と技能が理解出来る 過去問題
9回目	危機管理職種 コンプライアンスの知識と技能が理解出来る 過去問題
10回目	ホテル事業計画につき、必要な知識が理解出来る 過去問題
11回目	ホテル会計の概要が理解出来る 過去問題
12回目	損益計算書や損益分岐点売上や主要分析指標の内容が理解出来る 過去問題
13回目	ホテルマーケティングとホテル購買管理の仕組み、人材育成の重要性が理解出来る 過去問題
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	ホテル宿泊業の事業特性を深く認識し、売上は減っても利益を出す仕組みがないか?のテーマに挑む。ホテルレストラン業界をオペレーターとして志望する学生が多い中で、この業界を企業ビジネスとして他業界と比較する目標を持つことが重要と考える。学生には新聞等のメディアで色んな産業経済に目線を向ける習慣付けを指導したい。
評価方法	筆記試験 100% 参考に提出レポート等 評価
受講生への メッセージ	ホテルマネジメント検定3級の受験合格を目指します。最近の問題の傾向に、日頃の世界や日本の観光業、ホテル、旅館、航空業界などの話題に関する出題が散見されます。業界に関するメディア情報に敏感に反応しましょう。又分析数値問題にも慣れる事が大切です。数値判断は社会に出てからも必要なスキルになり、学生時代に慣れる事が一番です。合格目指し、頑張ろう。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト ホテル・マネジメント概論</li> <li>・他プリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題 ※基本的に過去問題中心に学習します。</li> </ul>	

科目名 (英)	コストコントロール  Cost controll	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	高橋 良一
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	月曜日1時限

【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)  
 本校において、激変する世界市場の中でホテルビジネスマーケットがどの様に変化変貌するのか、未来予測をしながら、収益を上げる為のホテル・レストラン経営の基礎から学び、未来に通じる知識や能力を認識し、世の中の変化に対応出来る様な能力を持てる様になる指導をする。

※実務経験:ホテル業界に40年以上在籍し、関東私鉄系、航空系、外資系、地方独立系等の5件の開業プロジェクトを経験し、2014年にホテル旅館運営支援事業の㈱HAMAソリューションズ設立し、ホテル旅館の運営コンサル実施し、現在7期目に至る。

【到達目標】  
 ホテル業の中のレストランの位置づけと、ホテルレストランと路面レストランとの違いを認識し、自らが飲食業を開業経営するために必要な基礎知識と開業シミュレーションを通じた学習を行う。自らがそれぞれのテーマに取り組み、学生自らが①感じ②考え③記録④行動(プレゼン)が出来、学生自らの研究心が醸成され、レストラン経営の基本的な事が理解出来、ホテルレストランでの運営に充分対応出来る力が備わる。

授業計画・内容	
1回目	初回授業 授業スタイル説明 レストラン。マネジメント は何故必要か? が理解できる
2回目	ホテル内レストラン と 路面レストランの違いが、何であるか理解できる
3回目	レストランマネジメント(経営)の仕事内容と、その魅力が判る
4回目	レストランコンセプトを考える コンセプトシートを各自作成する事が出来る (客席、人員、厨房、等)
5回目	売上計画を立てる 1. (メニュー、価格政策等を考慮し、自店舗の売上計画を作成する事が出来る)
6回目	収支計画を立てる 1. 売上に対し費用を考え、推定値を想定し、収支計画書を作成する事が出来る
7回目	収支計画を立てる 2. 売上に対し費用を考え、推定値を想定し、収支計画書を作成する事が出来る
8回目	サービス力向上 と商品力向上 の為の ABC分析表の作成と、活用法 を認識する
9回目	顧客情報収集と活用法を認識する
10回目	経営管理(数値分析) レストラン運営において様々な数値管理方法がある事を認識し、活用する事が出来る
11回目	利益管理と損益計算書 レストランP/Lを読む事が出来る
12回目	損益分岐点売上高 分析 損益分岐点売上高を算出する事が出来る
13回目	自前 レストランの概要と収支モデル のプレゼンテーション 1. 自前の飲食店の経営収支モデルを皆の前でプレゼン実施する事が出来る
14回目	前期間中に実施した小テストの中から前期試験出題
15回目	基本同じ問題はしない。 課題レポートにて実施
準備学習 時間外学習	・新聞やネット情報に対し関心を持ち、感じる力と、その情報に対し考える習慣、その考えた事を記録に残し、自分の考えを発言できる様にする為、日頃からニュースに関心を持つ事 最も大事にしたい事は現状を認識して未来を予測する力をつける事。 マネジメントやマーケティング知識に合わせて、自らが調査研究したことを纏めて、プレゼン出来る能力を高める。
評価方法	日常での小テスト及び、レポート内容と最終期末試験を実施
受講生への メッセージ	ホテル運営とレストラン運営は密接な関係があります。今講座はホテル直営レストランと路面店舗の相違点を探り、昨今のホテルが飲食部門を何故、アウトソーシングにするのか?等を探ります。又、皆さん個人個人の店舗開発計画を策定し、コンセプト作りから収支計算を含む開業計画シミュレーションを前期末に実施します。もしも、皆さんが飲食業開発される際の参考になる様な講座にしますので、其々に開業をイメージして下さい。
【使用教科書・教材・参考書】	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生使用テキスト無し</li> <li>・全てプリント配布 あるいはPPTやPDF表示による課題</li> </ul> ※授業中 PCやタブレット所有の場合はExcelを使用します	

# 福岡ウェディング & ホテル・IR専門学校 2021年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	コーチングスキル Coaching skill	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	青柳 明子
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	水曜1限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【学習内容】社会人として働くうえで役立つ様々な知識を講義します。一般常識、マナーを取り入れ、今後社会で活躍する魅力的な人材を育成します。 【実務経験】エミレーツ航空にて客室乗務員として約7年間勤務 講師歴2年							
【到達目標】 就職後に必要となる実践的な知識を身に付け、今後の社会人生活に役立てることができる。様々なシチュエーションに対応できるスキルを身に付けることができる。							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・授業の目的説明・社会人として働くまでの時間の過ごし方
2回目	所作の大切さ、第一印象の大切さを知り、理由を説明することができる。
3回目	マナーの必要性・重要性を説明することができる。好感度を高めるポイントについて学ぶことができる。
4回目	接客・接遇マナーについて学び演習する。
5回目	接客・接遇マナーについて学び演習する。
6回目	話し方と聞き方のポイント・正しい言葉遣いを身に付けることができる。
7回目	名刺交換・席次・来客時の対応の仕方を身に付けることができる。
8回目	報告・連絡・相談を的確に行うことができる。。スケジュール管理等基本的な仕事の仕方を身に付けることができる。
9回目	仕事での立ち振る舞いを考え、入社から退社までのマナーを身に付けることができる。
10回目	様々なニーズに合わせた、シチュエーション別の対応の仕方を身に付けることができる。
11回目	訪問先でのマナーを身に付けることができる。
12回目	雑談力・会話力を上げる方法を学び、会話を膨らませることができる。
13回目	就職後の心構え・社内外で気を付けること
14回目	★評価週
15回目	★まとめ・追試/再試 <span style="float: right;">総復習</span>
準備学習 時間外学習	聞いてみたいこと、疑問に思ったことを事前に考えて用意しておきましょう。
評価方法	期末テスト100% (レポート提出)
受講生への メッセージ	本講義は社会人に必要なマナー・スキルを分かりやすく講義します。もうすぐ社会で活躍する自分をイメージしながら受講してください。
必要に応じてプリント配布	

科目名 (英)	キャリアプログラム	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	中尾 茉奈
	Career Program	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期・後期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				4	曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
【実務経験】 教育学修士を取得後、保育者養成校や短期大学にて担任業務及び表現教育・健康教育・心理学などの専門科目の授業を担当。							
【授業内容】 半年後に社会人となる学生に対し、キャリアプランを考案しつつ様々な労働に関する決まりごと・資産の管理について学びます。							
【到達目標】 将来のキャリア目標を設定し、それを達成するための計画を立てるスキルを習得することができるようになる。 財務管理や金融知識に関する知識を習得し、個人の財政を管理することができるようになる。							

授業計画・内容	
第1回	授業の内容説明や到達目標の共有を通して、授業の目的を理解することができる。
第2回	年始に記入したやりたいことリストを再度見返し、達成度を把握する。
第3回	キャリアプランニング: 将来のキャリア目標を設定し、それを達成するための計画を立てるスキルを習得することができるようになる。
第4回	マネー教育① 予算立案と管理ができるようになる
第5回	マネー教育② 金融機関や金融商品についての基本的な知識を習得することができるようになる。
第6回	マネー教育③ 投資の概念を理解し、リスクとリタイアメントプランニングを考慮に入れた資産形成の戦略を立てることができるようになる。
第7回	求人票に記載されている保険に関する知識を習得することができる。
第8回	インプロゲームを通して、グループで協力し、共同作業でのチームワークのスキルを発展させることができるようになる。
第9回	インプロゲームを通して、自分自身を表現し、自己主張する自信を高めることができるようになる。
第10回	グループ面接練習①
第11回	グループ面接練習②
第12回	2024年の振り返り: 個人/グループで達成度を共有する。
第13回	2025年にやりたいことを100個考え、記入することができる
第14回	評価週
第15回	3年間の振り返り
準備学習 時間外学習	必要に応じて指示します。
評価方法	出席率50%、課題提出50%
受講生への メッセージ	社会人になるまでの過程並びに社会人になってから必要な知識を伝えていきます。残り1年半の学生生活、日々大切に生きていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
配布資料	

科目名 (英)	卒業制作 Presentation to mark the two years study	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	采女先生
学科・コース	ホスピタリティビジネス科 ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 水曜日5限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>レストランサービス技能士一級を取得し、数々のホテルにてレストランサービスを30年経験。 上記の経験を活かし基本的な知識、技術をシミュレーションを通して接客サービスを学ぶ。</p>							
【到達目標】							
フルコースサービスの知識、技術の習得							

授業計画・内容	
第1回	9/20 オリエンテーション・コース料理構成
第2回	9/27 サービススタッフのマナー
第3回	10/3 テーブルセッティング
第4回	10/11 実技①
第5回	10/18 実技②
第6回	10/25 実技③
第7回	11/8 中間まとめ
第8回	11/15 実技④
第9回	11/22 実技⑤
第10回	11/29 実技⑥
第11回	12/6 実技試験①
第12回	12/13 まとめ② 就職出陣式の為、1/31に振替
第13回	1/10 実技試験②
第14回	1/17 評価週
第15回	1/24 まとめ①
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技50% レポート提出30% 授業態度20%
受講生への メッセージ	フルコースサービスのシミュレーションを通して知識、技術だけではなく「おもてなし」を学びましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
レジュメなど	

科目名 (英)	SPI	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	小柳 亜紀
	SPI	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	ホスピタリティビジネス科					曜日・時限	火曜日2時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)          実践的な試験対策の授業を実施。言語分野では言語の意味や、話の要旨を的確にとらえる理解力を養う。非言語分野では、数的処理能力、および解法を理解し、正確・迅速な解答力がつくように指導する。</p> <p>※実務経験：久留米大学、九州産業大学において、公務員講座受験の一環としてSPI対策、7年指導。専門学校九州英数学館国際ビジネス学科(留学生対象)SPI対策5年指導。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職筆記試験における、適性検査(SPI)の重要性を認識できる。</li> <li>・SPI問題を網羅し、「見たことがないのでできない」という初歩的な苦手意識を克服できる。</li> <li>・【初級】で、数的基礎を思い出し、非言語問題の解法にスムーズに進むことができる。</li> <li>・【非言語分野】での出題頻度の高い問題の解法パターンを習得できる。</li> <li>・【言語分野】問題に数多く触れることで、語彙力、言語知識を学ぶ楽しさを養うとともに、自ら文章を読み、語彙力を増やすことができる。</li> </ul>							

授業計画・内容	
1回目	自己紹介・SPI試験の概要・対策・現状測定(基本的な計算の復習、SPI例として、表の見方)
2回目	【初級】基礎的な計算(割合・比の基礎)【非言語問題:濃度算】 割合・比を復習することで、濃度式の立式がスムーズにできる。
3回目	初級]基礎的な計算(時間、速さの単位変換)【非言語問題:速度算】 単位変換のケアレスミスをなくし、速度算を習得できる。
4回目	【非言語:損益算】 初歩的な問題を数多くこなすことで構造を習得、苦手意識を克服し、直感的な解法ができるようになる。
5回目	【言語問題:同意語・反意語】同じ意味、異なる意味 頻出の言葉を繰り返し解き、解法のテクニックと共に判断できる。
6回目	【言語問題:2語の関係】 2つの単語同士の関係 例題からすばやく見抜く力がつくとともに、頻出問題を選択できる力をつける。
7回目	【初級】一次方程式 【非言語問題:割合と値段】 全体と部分と割合の関係をつかめる。回数払いの時系列で整理できる。
8回目	【初級】場合の数 【非言語問題:順列・組み合わせ】 問題から順列か組み合わせなのを、判断して解くことができる
9回目	【言語問題:文の並び替え】 接続詞、代名詞などで先頭にくる文が、的確にわかるようになる。
10回目	【言語問題:空欄補充】 具体例、言い換え表現に、見抜く力がつく。
11回目	【初級]基礎的な四則計算【非言語問題:ブラックボックス】 丁寧な解法が習慣づき、結果として、複雑なボックスも解法できる。
12回目	非言語:論証] 対偶と三段論法をそれぞれ理解。条件で示される否定文が対偶をとって肯定文にできる。
13回目	【非言語問題】と【言語問題】頻出問題
14回目	評価週 到達確認のための期末試験
15回目	追試・再試 および【その他の非言語問題】 非言語問題に関して網羅、解法はすべてチャレンジできる。
準備学習 時間外学習	授業時間内での演習プラスとして、やや難易度の高い問題を宿題(課題)として出題(自宅学習)、次回冒頭での答え合わせ
評価方法	期末試験(筆記試験)100%(100点)
受講生への メッセージ	SPIは数学的知識を必要とする問題の比重が高くなります。苦手だ、見るのも嫌だという意識を克服することを目標にしましょう。そのために、まず問題を【初級】として、数多く解いていきます。その【初級】問題で、基礎的な数的知識を思い出しましょう。また、得意不得意分野が個人で異なるので、友人同士解き方を工夫、教えあいながら、苦手項目を克服していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
参考図書「ドリル式 SPI問題集」	

科目名 (英)	ICT・AI基礎 Practice for Tablet&IT literacy	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	田村 勇樹
学科・コース	ホスピタリティマネジメント科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	水曜日1時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) AI-900の試験範囲を「授業計画・内容」の内容を基に各回で習得していきます。</p> <p>※実務経験 講師紹介: コンシューマーゲームソフトをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。</p>							
<p>【到達目標】 iPadの使用方法や活用方法、AI-900の対策、到達目標は資格取得と今後自分が目指す業界にどのように生かせるか説明できる。</p>							

授業計画・内容	
1回目	iPadの基本的な使用方法を理解して活用することができる
2回目	iPadの応用的な使用方法を理解して活用することができる
3回目	自分が目指す業界にどのように活かせるか説明できる
4回目	AI-900とは
5回目	AIの概要
6回目	機械学習の基本原則
7回目	Computer vision
8回目	Computer vision
9回目	Computer vision
10回目	自然言語処理
11回目	対話型 AI
12回目	知識確認テスト
13回目	知識確認テスト結果の総括と復習
14回目	総合復習
15回目	Azure本試験
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率60% 試験結果40%
受講生への メッセージ	昨年から今年にかけて、AI関連のニュースも多くなり、これからますます需要の増す資格試験なので合格を勝ち取りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	ホスピタリティ演習 Hospitality Practical training	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	川崎 侑季
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
						曜日・時限	火曜日3時限
<p>【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) マーケティングを通して、会社をより理解していくための学習をします。</p> <p>※実務経験: グランドスタッフとして福岡空港国際線で勤務ののち、エアライン専門学校で3年間勤務。約1,000人の授業、就職支援、教務責任者を担当。 現在は接客を評価され、医師専門の税務会見を担当している。</p>							
<p>【到達目標】 就職後に求められる内容をあらかじめ知っておこう。</p>							

授業計画・内容	
1回目	マーケティングとは？
2回目	セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング
3回目	マクドナルドとモスバーガー、何が違う？
4回目	マジカルナンバーを使いこなそう
5回目	ほうれんそう、PDCAサイクル、ルーティン化とは
6回目	ほうれんそうはなぜ必要？
7回目	選考先、内定先企業をブランディングしてみよう
8回目	ブランディングした内容を発表しよう
9回目	福岡空港の特徴 ～どんなキャッチフレーズをつける？～
10回目	各航空会社のSNS戦略 ※スマートフォンを忘れずに！
11回目	成功している例、失敗している例、どうすれば成功に導ける？
12回目	マーケティングをおもてなしに反映させるには？
13回目	ほうれんそうとおもてなしの関係
14回目	自分をブランディングしたらどんなキャッチフレーズになる？
15回目	あなたのSNSフォロワーを増やすには？
準備学習 時間外学習	特に準備の必要はありません。
評価方法	授業態度 70% 身だしなみ・立居振舞 30%
受講生への メッセージ	難しい内容ですが、理解できると楽しいです。 就職活動の着休めとして楽しく受講してください。
【使用教科書・教材・参考書】	
なし	

科目名 (英)	ICT・AIビジネス ICT・AI business	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田村 勇樹
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	後期 水曜3限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<b>【学習内容】</b> 社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。 また、その応用や発展性について、議論、発表することができる。 <b>【実務経験】</b> 講師紹介:PlayStation4ソフトウェアをはじめとした、大規模ソフトウェア開発に従事。2016年からはVRや人工知能、ロボティクスの分野で開発を行う。また写真、動画制作を行っており、写真展、写真集制作、YouTube動画制作などを行う。							
<b>【到達目標】</b> ホテル観光業界やビジネスの現場で利用されているICT・AI技術の活用事例を学びプレゼンテーションをすることができる。							

授業計画・内容	
1回目	情報収集と要約と発表の方法について
2回目	ホテルのDXについて、議論し発表することができる
3回目	観光のDXについて、議論し発表することができる
4回目	コンシューマーゲームサービス(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
5回目	コンシューマーゲームサービス(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
6回目	動画配信サービス(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
7回目	動画配信サービス(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
8回目	web会議サービス(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
9回目	web会議サービス(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
10回目	VRデバイスおよび、そのサービス(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
11回目	VRデバイスおよび、そのサービス(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
12回目	sequence SUIDOBASHI(情報収集)社会で頻用されるツールとその特徴について、情報収集をして説明することができる。
13回目	sequence SUIDOBASHI(応用、発展性)その応用や発展性について、議論、発表することができる。
14回目	★評価週
	確認テスト
15回目	総括
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	各回の発表と確認テスト
受講生への メッセージ	この授業で社会人として必要最低限のITリテラシーと、情報分析および情報伝達能力を養いましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	

科目名 (英)	WEBマーケティング	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	田中 香利
	WEB marketing	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科				4	曜日・時限	火曜2限・3限
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<p>※実務経験 株式会社千草にてゲストハウス・ホテル会場の支配人として15年勤務。その後、株式会社ミラポートジャパン プライダルコンサルティング会社 代表取締役 に就任。</p>							
【到達目標】 数字を使いこなす : 頭のイメージを言語化→数値化→具体化→伝達化 できる							

授業計画・内容	
第1回	オリエンテーション 社会における数字の世界概要
第2回	目標達成を数値化する方法1 : 目標設定 : 頭の中のイメージを数字で表現するスキルを身につけることができる
第3回	目標達成を数値化する方法2 : アンカリング効果 : 顧客が反応するポイントを把握するスキルを身につけることができる
第4回	目標達成を数値化する方法3 : サムシングニューの数字設定 : マインドスキルアップに伴い効果的なセールストークスキルを身につけることができる
第5回	言語化のポイントは数字で表現する1 : 思考のものさし : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第6回	言語化のポイントは数字で表現する2 : 理解語彙と使用語彙 : 頭の中のイメージを数字で言語化する方法を理解できる
第7回	言語化のポイントは数字で表現する3 : 具体化 : 頭の中のイメージの言語を数字で具体化するスキルを身につけることができる
第8回	言語化のポイントは数字で表現する4 : プロフィールを数字で作成 : セールス時の説得力を身につけることができる
第9回	言語化のポイントは数字で表現する5 : アウトプット : 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第10回	言語化のポイントは数字で表現する6 : アウトプット : 具体化された数字をストーリーに : 伝達力を見につけることができる
第11回	数字を引用したセールストーク1 : 或る会社の商品(プライダル業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第12回	数字を引用したセールストーク2 : 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第13回	数字を引用したセールストーク3 : 或る会社の商品(サービス業界)の商品のセールストークを作成 : 夢と想いを数値化したトークスキルを身につけることができる
第14回	期末テスト
第15回	期末テスト 振り返り 復習 まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	PCを使用
受講生への メッセージ	残り少ない学生期間で、数字の深掘りをし、アウトプットし伝達する力を身につけましょう
【使用教科書・教材・参考書】	
PC・USB持参	

# 福岡ウェディング & ホテル・IR専門学校 2022年度後期 授業シラバス

科目名 (英)	カジノマネジメント Casino Management	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	
学科・コース	ホスピタリティビジネス科	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限	水曜3.限目
【授業の学習内容】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
<b>【学習内容】</b> バカラやブラックジャックのディーリング(2021年度の復習)やチップワークを行いながら、カジノフロアで働く人たちの役職や考え方を理解を促します。							
<b>【実務経験】</b> マリーナバイサズ(シンガポール)でメインフロアからプライベートVIPルームまでディーラーとして2年ほどの実務経験があります。							
<b>【到達目標】</b> ゲームの遂行に加え、IRの有効性やカジノ内部の組織形態を理解し、カジノ業界で働くための基礎を身に付けることができる。							

授業計画・内容	
1回目	ディーリング(2021年度復習:バカラとブラックジャック)とチップワークの感覚を掴み直すことができる
2回目	IRセミナーF(前編)を受け、IRの有効性やカジノ内の組織形態を理解することができる
3回目	IRセミナーF(後編)を受け、IRの有効性やカジノ内の組織形態を理解することができる
4回目	プレイヤーとして、ディーリング(ゲーム名:シックポー)のルールと賭け方を理解することができる
5回目	ディーラーとして、ディーリング(シックポー)を行い、改善しながらゲームの遂行ができる
6回目	ディーラーとして、ディーリング(シックポー)を行い、配当を間違えずにゲームの遂行ができる
7回目	総復習:ブラックジャック・バカラ・シックポーを行い、スキルを確認出来る。
8回目	総復習:ブラックジャック・バカラ・シックポーを行い、スキルを確認出来る。
9回目	IRセミナーFの復習を行いカジノ組織について理解度を深めることができる。
10回目	筆記試験(PPT/プリント「IRセミナーF」より出題)
11回目	DVD鑑賞「CASINO(1995年)」178分 カジノの業界についての名作映画を知ることができる
12回目	DVD鑑賞「CASINO(1995年)」178分 カジノの業界についての名作映画を知ることができる
13回目	試験対策
14回目	評価週
15回目	振り返り
準備学習 時間外学習	なし
評価方法	期末テスト100%
受講生への メッセージ	今回は昨年度の復習、新しいゲーム、IRや組織形態について学びます。 カジノ業界で働けるようにスキルや知識をつけましょう！よろしく願いいたします。
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b> ①PPT「IRセミナー2022F」 ②プリント「IRセミナー2022F(PPTのスライド)」	